

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公表番号】特表2020-507989(P2020-507989A)
 【公表日】令和2年3月12日(2020.3.12)
 【年通号数】公開・登録公報2020-010
 【出願番号】特願2019-542219(P2019-542219)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 76/10 (2018.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 1 1

H 0 4 W 76/10

【手続補正書】
 【提出日】令和3年1月4日(2021.1.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための方法であって、

前記UEのサポートされる帯域幅能力の第1の指示と、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連するコンポーネント構成の第3の指示とをネットワークアクセスデバイスへ送信するステップであって、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、前記ネットワークアクセスデバイスに関連する最大コンポーネントキャリア帯域幅よりも小さく、前記コンポーネント構成が前記UEの電力増幅器の個数を含む、ステップと、

割当て帯域幅を含む第2の指示を前記ネットワークアクセスデバイスから受信するステップであって、前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、ステップと

を備える方法。

【請求項2】

前記UEの前記サポートされる帯域幅能力の前記第3の指示が、リンク方向、キャリア周波数、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つに関連する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記コンポーネント構成が、無線周波数(RF)チェーンの個数、少なくとも1つのRFチェーン用の最大電力パラメータ、前記個数のRFチェーンの位相ロックループ(PLL)構成、前記UEの離散フーリエ変換(DFT)サイズパラメータ、前記UEの動的周波数再同調パラメータ、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、前記UEのコンポーネント帯域幅構成、前記UEのアグリゲート帯域幅構成、前記UEのアグリゲート帯域幅内の不連続帯域幅に対するサポートの指示、前記UEの前記アグリゲート帯域幅内の少なくとも1つのコンポーネント帯域幅、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第2の指示が、チャネル推定のために使用されるプリコーディングリソースブロックグループ(PRG)の指示に対する割当て帯域幅を含み、前記PRGの前記指示に対する前記割

当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、または、

前記第2の指示が、チャネル品質情報(CQI)フィードバック用のサブバンドの割当て帯域幅を含み、前記サブバンドの前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にあり、前記方法が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内で前記CQIフィードバックを前記ネットワークアクセスデバイスへ送信するステップをさらに備える、または、

前記第2の指示が、サウンディング基準信号(SRS)送信用の割当て帯域幅を含み、前記SRS送信用の前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にあり、前記方法が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内で前記SRS送信を前記ネットワークアクセスデバイスへ送信するステップをさらに備える、
請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第2の指示が、ネットワークアクセスデバイス無線周波数(RF)コンポーネント帯域幅の1つまたは複数の境界を示すダウンリンク基準信号(RS)を含み、前記方法が、

前記受信された1つまたは複数の境界のうちの1つに少なくとも基づいて位相オフセットを推定するステップと、

前記推定された位相オフセットに基づいてコヒーレント測位動作を実行するステップとをさらに備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、周波数粒度を提供する値のセットとして指定され、かつ前記ネットワークアクセスデバイスRFコンポーネント帯域幅が、周波数粒度を提供する値のセットとして指定される、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

広帯域コンポーネントキャリア(CC)の異なる周波数範囲に対してバンド内連続キャリアアグリゲーションを実行するように構成された無線周波数チェーンのセットを使用して、前記広帯域CCを介して送信を受信するステップ

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

前記サポートされる帯域幅能力の前記第1の指示が、前記UEの1対の無線周波数チェーン間の少なくとも1つの境界を含み、通信する前記ステップが、

前記少なくとも1つの境界に少なくとも部分的に基づいて、ダウンリンク通信、アップリンク通信、またはサイドリンク通信のうちの少なくとも1つを実行するステップを備える、あるいは、

前記割当て帯域幅に関連する信号またはチャネルが前記少なくとも1つの境界のうちの1つの境界にオーバーラップすることを決定するステップと、

前記信号または前記チャネルに基づく通信を控えるステップとを備える、
請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための装置であって、

前記UEのサポートされる帯域幅能力の第1の指示と、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連するコンポーネント構成の第3の指示とをネットワークアクセスデバイスへ送信するための手段であって、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、前記ネットワークアクセスデバイスに関連する最大コンポーネントキャリア帯域幅よりも小さく、前記コンポーネント構成が前記UEの電力増幅器の個数を含む、手段と、

割当て帯域幅を含む第2の指示を前記ネットワークアクセスデバイスから受信するための手段であって、前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、手段と

を備える装置。

【請求項 11】

ネットワークアクセスデバイスにおけるワイヤレス通信のための方法であって、ユーザ機器(UE)のサポートされる帯域幅能力の第1の指示と、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連するコンポーネント構成の第3の指示とを前記UEから受信するステップであって、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、前記ネットワークアクセスデバイスに関連する最大コンポーネントキャリア帯域幅よりも小さく、前記コンポーネント構成が前記UEの電力増幅器の個数を含む、ステップと、

割当て帯域幅を含む第2の指示を前記UEへ送信するステップであって、前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、ステップとを備える方法。

【請求項 1 2】

前記第2の指示が、

チャンネル推定のために使用されるプリコーディングリソースブロックグループ(PRG)の指示に対する割当て帯域幅を含み、前記PRGの前記指示に対する前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、または、

チャンネル品質情報(CQI)フィードバック用のサブバンドの割当て帯域幅を含み、前記サブバンドの前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にあり、前記方法が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内で前記CQIフィードバックを前記UEから受信するステップをさらに備える、または、

サウンディング基準信号(SRS)送信用の割当て帯域幅を含み、前記SRS送信用の前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にあり、前記方法が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内で前記SRS送信を前記UEから受信するステップをさらに備える、請求項11に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記第1の指示が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連する少なくとも1つの境界を示すアップリンク基準信号(RS)を含み、前記方法が、

前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連する前記少なくとも1つの境界、およびネットワークアクセスデバイス無線周波数(RF)帯域幅の少なくとも1つの境界に少なくとも基づいて、位相オフセットを推定するステップと、

前記推定された位相オフセットに基づいてコヒーレント測位動作を実行するステップとをさらに備える、

請求項11に記載の方法。

【請求項 1 4】

ネットワークアクセスデバイスにおけるワイヤレス通信のための装置であって、

ユーザ機器(UE)のサポートされる帯域幅能力の第1の指示と、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力に関連するコンポーネント構成の第3の指示とを前記UEから受信するための手段であって、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力が、前記ネットワークアクセスデバイスに関連する最大コンポーネントキャリア帯域幅よりも小さく、前記コンポーネント構成が前記UEの電力増幅器の個数を含む、手段と、

ブロードキャストメッセージ用の割当て帯域幅を含む第2の指示を前記UEへ送信するための手段であって、前記割当て帯域幅が、前記UEの前記サポートされる帯域幅能力内にある、手段と

を備える装置。

【請求項 1 5】

ユーザ装置またはネットワークアクセスデバイスにおけるワイヤレス通信のためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記コードが、請求項1～9および11～13のいずれか一項に記載の方法法を行うように実行可能な命令を備える、

非一時的コンピュータ可読記憶媒体。